

六ヶ所再処理工場で回収されるプルトニウムの利用計画について

平成 19 年 2 月 23 日
東京電力株式会社

日本原燃株式会社六ヶ所再処理工場は、平成 18 年 3 月から使用済燃料を使用したアクティブ試験を開始しており、平成 19 年 11 月には本格操業を開始する予定です。つきましては、平成 19 年度のプルトニウムの分離・回収に先立ち、「我が国におけるプルトニウム利用の基本的な考え方（平成 15 年 8 月 5 日 原子力委員会決定）」に基づき、六ヶ所再処理工場で回収される当社分プルトニウムの利用計画を、別紙のとおりお知らせします。

当社は、平成 18 年度末に約 0.3 トン、平成 19 年度末に約 1.0 トンの核分裂性プルトニウムを所有する見通しであります。立地地域の皆さまからの信頼回復に努めることを基本に、このプルトニウムを、国内 MOX 燃料加工工場の竣工が予定されている平成 24 年度以降、当社原子力発電所の 3～4 基において、燃料として利用することを計画しています。

当社におけるデータ改ざん等の問題につきましては、多くの皆さまにご心配をお掛けし、深く反省しております。立地地域の皆さまのご理解は、原子力発電所運営にとって欠かせないものであり、当社では、現在、全社を挙げて原因究明と再発防止策の策定を進めており、信頼回復に全力をあげて取り組んでまいります。

以 上

別紙：「六ヶ所再処理工場回収プルトニウム利用計画（平成 19 年度）」
（網掛け部分が当社計画）